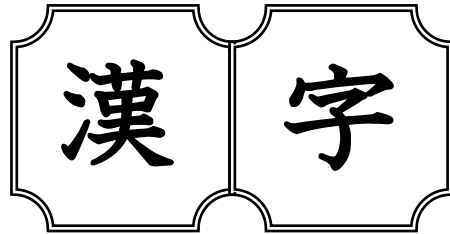




No.120 2012. 12

発行 真言宗豊山派
北田山宝泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

今年の



今年も数えるところあとわずか。嬉しいこと。悲しいこと。本当に色々なことのあった年でした。

ところで、『今年の漢字』といって、その年のイメージを漢字一文字で表すと…。という行事が清水寺を舞台に95年から行われているのは皆さんご存じのことと思います。今年の漢字はオリンピックのイメージからか「金」でしたが、皆さんにとって今年の一文字はどんな漢字だったでしょうか。

私が思い浮かべる一字は「代」です。先日、行われた衆議院総選挙では、自民党が3年3ヶ月ぶりに与党に返り咲き、政権交「代」が遂げられました。また、中国や韓国でもトップが「代」わり、新体制への歩みが始まりました。そして、何よりも、ここ宝泉寺においては住職が「代」替わりをするという、お寺にとっては大きな節目となる年でもありました。

「代わる」という言葉には、「変わる」と異なり、「前のものを受け継ぐ」という意味が含まれ、これを少し飛躍させると、「温故知新」となります。古くから伝わる良いところをしっかりと受け継ぎ、また、時代に則した新しいことにもどんどん挑戦し、変えるところは変えていく。間もなく新しい年が明けますが、そんな気持ちで来年も一年、宝泉寺は皆さんと一緒に歩んでいきたいと思います。(了)



元旦 お経の会

← 午前0時、午前9時の2回 寶泉寺、本堂
持ち物 数珠、あれば輪袈裟(わけさ) →

新年のお勤めと、顔合わせです。もしも元旦にお墓参りにお出でであれば、この時間にあわせて参加しませんか。近年、お勤めの後に集合写真を撮っています。いわば定点撮影、あとあとを楽しみにしています。

大師堂 護摩檀新調

平成22年夏から、寶泉寺旧本堂は大師堂として新たな歴史を刻むことになりました。もともとここには古びてシンプルな護摩檀がしつらえであり、往時は護摩修行が時のご住職によって行われていたことがわかります。このような経緯からこの度の新調となり、費用は大師堂改築にあたって特にと頂いた篤志者の御奉納です。

ところで礼盤(らいはん、修行者が座る台)は以前のを保管しており、これを再生利用しました。長い歴史を途絶えさせたくなかったからであり、裏面には「奉納 大野政右衛門」とだけ墨書されています。大野政右衛門氏は今に繋がる当地区大野家のご先祖であり、過去帳には嘉永7年没と記されており。推測するに護摩檀設置は文政12年の旧本堂建立から20年後ほどと思われ、本堂は出来たが仏具が整わない、小僧はこんな状況を想像しています。氏の精神をいつまでもと願いを込めて再生利用となりました。

今後は護摩修行も寶泉寺の大事な年中行事の一つにしたいと考えています。まずは来年3月21日、弘法大師、正御影供(しょうみえく、お大師様の祥月命日に當まれる法要)に初回の護摩殿修の予定、詳細は3月の「るり光」にてお知らせ致します。



製作中の護摩檀

先進国の中でも特に自殺率の高い日本において、自ら命を絶たれた方が14年連続で3万人を超えていたことを皆様はご存じでしょうか。今年、15年ぶりにその数が3万人を下回るとの予想が発表されました。

私は、3年前から「自死・自殺に向き合う僧侶の会」という会に所属し、自死（最近は「自殺」という言葉は用いずに「自死」と表記することが増えています）という社会現象に取り組む活動を行っています。この活動は、毎月一回の①「遺族の集い」の開催。自死を考えるぐらい辛い思いをしている方や、自死遺族と手紙のやり取りをする②「往復書簡」。そして年に一度の③「自死者追悼法要」の厳修。という三本柱で構成され、宗派を超えた40人ほどの僧侶により運営されています。

「遺族の集い」は、築地本願寺で毎月第4木曜日に催されていて、毎回15人～20人ほどの遺族が参加されています。「往復書簡」は、実際に手紙のやり取りを直筆で行います。そして、「自死者追悼法要」は、毎年12月1日に都内の大寺をお借りし、様々な宗派の僧侶が合同で法要を営みます。今年は港区の青松寺というお寺で170名の参列者を前に30人の僧侶により行われました（去年は芝の増上寺。一去年は、文京区の護国寺が会場でした）。

自死（自殺）に向き合う

自殺未遂をする人を「構って欲しいだけ」と笑う人がいます。自殺してしまった人を「弱いから」と打ち棄てる人がいます。遺族の方々のお話を伺っていると、そのような発想がとても貧しいものであることが判ります。自ら命を絶たれた方々は、構って欲しい訳でも弱い訳でもなく、それぐらい辛く苦しい境遇にいて、歯を食いしばり続けてきた人達です。私は、これからもそんな痛みを感じられる人間でありたいと考えています。（真了）

関心がおありの方は「自死・自殺に向き合う僧侶の会」のホームページもご覧ください。
<http://www.bouzsanga.org/>

年 回 表

平成 2 5 年

一 周 忌	平成 2 4 年
三 回 忌	平成 2 3 年
七 回 忌	平成 1 9 年
十三回 忌	平成 1 3 年
十七回 忌	平成 9 年
二十三回 忌	平成 3 年
二十七回 忌	昭和 6 2 年
三十三回 忌	昭和 5 6 年



みどし

年回表に命日を照らし合わせるとき、
ぜひ他の仏様の命日もあわせてご確
認下さい。こちらも確認に努めます。
ご近所やお知り合いなどの仏事のこ
相談などもお受けしております。



頭 上 落 雪 注 意



特に本堂の周囲、それとわたり廊下の下、墓参などの折には屋根か
らの落雪に十分なご注意願を！

車でお出での方へ

このところ寶泉寺前の道路の通行量がとて多くなりました。
加えて今年度は下水道の工事と道路舗装が重なり、道路沿いの駐車場の
車の出入りにはよほどの注意が必要となっています。予定では来春まで
続くようです。車での御来山はくれぐれもご注意の程をお願い致します。

普段はどうぞ屏の内側の駐車場をお使い下さい。

編 集 後 記

- ・年末のせわしい時期の総選挙、政治ドラマを見せつけられたよう、新政権にはこの大騒ぎに見合った成果を示して欲しい。
- ・先月末、珍しく夫婦で風邪を引いてしまった。全く鼻が利かず、間違っって焼いてしまったクサヤにまで気がつかずにいた。これではガス漏れや焦げる鍋にも気がつかない。ふと、目が見えない、耳が働かないと同じ障害を思わされた。その風邪は小僧に未だに居座っている。

- ・今年も10数人の最期に立ち会ってきた。近年「就活」という言葉は定着、さらにそれをもじて「終活」という言葉も珍しくなくなった。どう最期を迎えるかについて事前の準備が必要ということのようだ。たまたに葬儀の後に来られる方のお話を聞くとうなずけることがある。特に今のような時代にはなおさら終活の必要を感じる。
- ・寶泉寺ご本尊、薬師如来様の御加護あらんことを切にお祈り申し上げます。

(琴) 2012/12/19